

# 多核種除去設備（既設，増設，高性能）の稼働状況について

2015年1月22日

東京電力株式会社

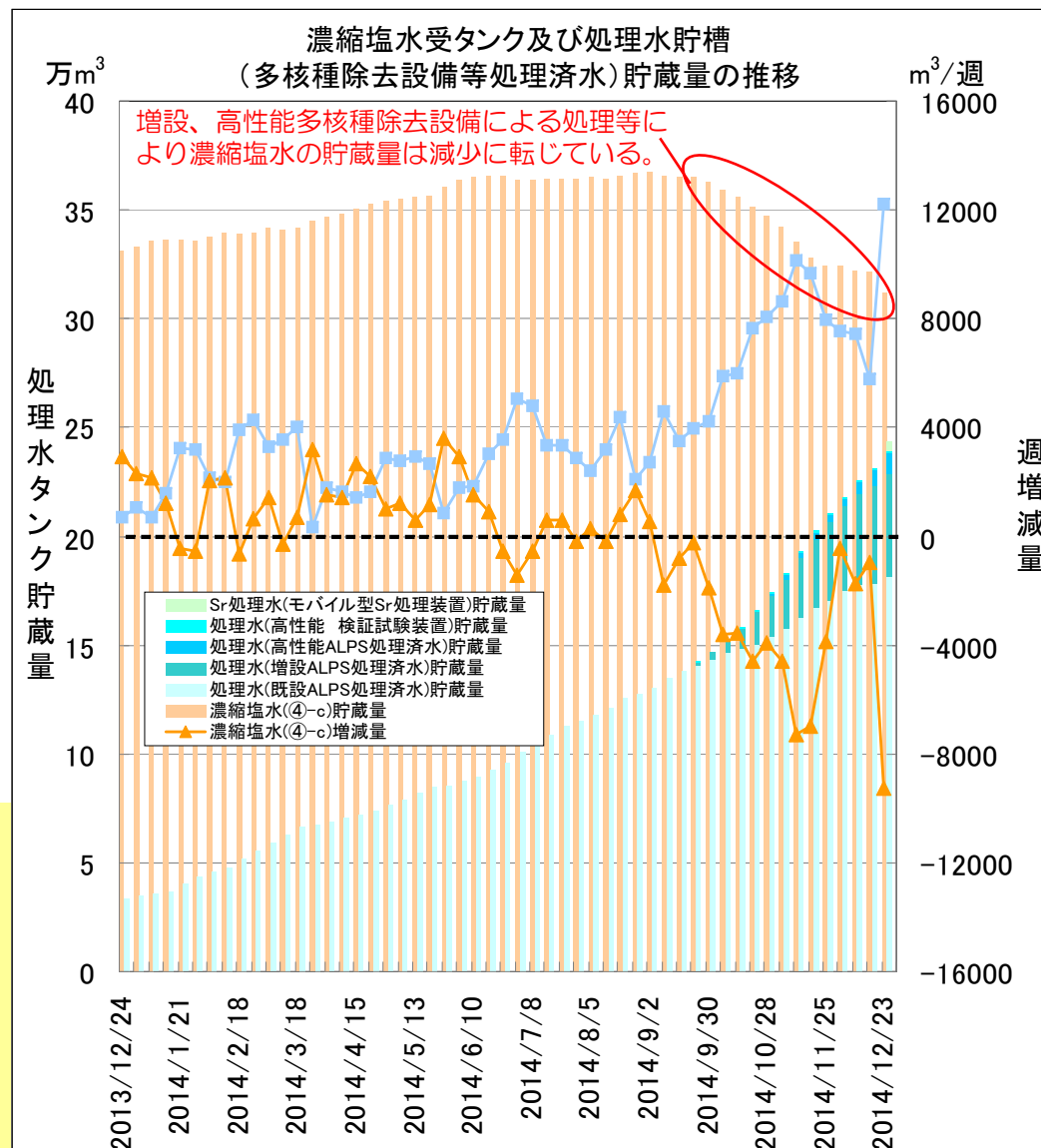
# 多核種除去設備等の稼働状況

## ■多核種除去設備等による汚染水（濃縮塩水）処理の状況

- 多核種除去設備  
1/15現在、約184,000m<sup>3</sup>の濃縮塩水を処理
- 増設多核種除去設備  
9/17～A系、9/27～B系、10/9～C系の処理を開始し、1/15現在、約60,000m<sup>3</sup>の濃縮塩水を処理
- 高性能多核種除去設備  
10/18～処理を開始し、1/15現在、約16,000m<sup>3</sup>の濃縮塩水を処理
- モバイル型ストロンチウム除去装置  
1/15現在、約4,000m<sup>3</sup>
- RO濃縮水処理装置  
1/15現在、約3,000m<sup>3</sup>

上記の設備により約27万m<sup>3</sup>の濃縮塩水を処理。

残り約29万m<sup>3</sup>の濃縮塩水及び地下水流入により新たに発生する濃縮塩水については、多核種除去設備による処理及び追加的な措置（モバイル型ストロンチウム除去装置等による処理）により早期の処理を目指す。



# 高性能多核種除去設備の稼働状況

## ■高性能多核種除去設備の稼働状況

- 運転初期は、ストロンチウムの除去性能持続時間が短いことが確認されたため、除去性能を確認しながら断続的な運転していたため処理量が少なかった
- 現在は、性能持続時間に関する知見が得られたことから、処理継続時間を延ばしながら運転を実施し処理量が増加

